

授業科目	保育実習指導Ⅲ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21633J		
開講年次	4	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	文屋 典子							
授業概要	<p>児童福祉施設の機能・役割、子どもを理解する視点、保育士に求められる知識・技術と、保育実習Ⅲに臨むにあつての姿勢・心構えについて確認する。事前学習を深め、各自の実習課題を明確にする。実習に必要な書類を作成し、事前訪問を行い、実習記録の書き方、保育指導案や個別支援計画の立案について学ぶ。守秘義務や危機管理について確認する。実習後は個別面接により実習の振り返りを行い、各自の実習での学びを整理し、実習報告会にて発表する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に臨むにあつての姿勢・心構えを身につける。 2. 実習施設の機能・役割と保育士の業務について理解する。 3. 子どもを理解する視点を習得する。 4. 保育に関する知識や技術、適切な実習記録作成など、実習で求められる知識と技術を習得する。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 6. 実習での体験や保育活動を専門的技術として概念化し、体系立てていく力を身につける。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	30	30	100	
知識・理解 (DP1-1)				3	3		6	
知識・理解 (DP1-2)				3	3		6	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				5	5	5	15	
思考・判断 (DP2-2)				5	5	5	15	
関心・意欲 (DP3-1)				3	3		6	
関心・意欲 (DP3-2)				3	3		6	
態度(DP4-1)				5	5	5	15	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)				3	3		6	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)				10		5	15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの1～6に到達したうえで、自己の課題を明確にし、その改善に向けた取り組みを実行できる。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に臨むにあつての姿勢・心構えを身につけている。 2. 実習先施設の機能・役割と保育士の業務について理解している。 3. 子どもを理解する視点を習得している。 4. 保育に関する知識や技術を実践し、適切な実習記録や指導案を作成することができる。 5. 守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 6. 実習での体験や保育活動を専門的技術として概念化し、体系立てていくことができる 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 実習に臨む心構え、授業の進め方、事前学習を行って理解しておくべきこと、各自が明確な課題をもって実習に臨むための準備を進めていくことを確認する。	講義	事前学習に取り組むための資料収集を行う。実習生紹介票の作成と実習課題の明確化に取り組む。	60
2	テーマ:事前学習計画の確認と書類作成 事前学習計画を確認し、事前学習テーマを決定する。実習生紹介票、実習誓約書、実習計画書の書き方について指導する。	個別指導	実習書類の作成と事前学習に取り組むための資料収集を行う。	60
3	テーマ:実習施設の現状と機能役割 実習施設の現状と機能役割について解説する。各自の実習課題とむすびつけ、さらに事前学習を深めるべき事項について確認する。	講義、グループワーク	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、実習施設の現状について理解を深める	60
4	テーマ:実習施設における子どもの生活と保育士の業務について 実習施設における子どもの生活と保育士の業務について解説する。各自の実習課題と結びつけ、さらに事前学習を深めるべき事項について確認する。	講義、事例学習	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、自己学習を進める	60
5	テーマ:子どもの特性やニーズに応じた支援 子どもの特性やニーズに応じた支援について、事例を通して考察し、実習で求められる基本的知識と援助技術について説明する。	講義、事例学習	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、自己学習を進める	60
6	テーマ:子どもの特性やニーズに応じた支援 子どもの特性やニーズに応じた支援について、事例を通して考察し、実習で求められる基本的知識と援助技術について説明する。	講義、事例学習	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、自己学習を深める。	60
7	テーマ:実習日誌の書き方 視聴覚教材を用いて記録を書くことを実践し、実習日誌の書き方を学ぶ。	講義、演習	さらに事前学習を深めるべき事項について整理し、自己学習を進める	60
8	テーマ:実習直前指導 実習前の最終確認事項と事前訪問の実施について説明する	講義、個別指導	各自の事前学習した内容を整理し、理解する。最終確認での注意事項は、実習開始までに繰り返し確認すること。	60
9	テーマ:実習の振り返り 個別面談による実習の振り返りを行い、実習を通しての学び・気づき・課題・反省等を整理する。実習報告の準備を進める。	個別指導	実習を通しての学び・気づき・課題・反省を整理し、実習報告の準備を行う。	60
10	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60
11	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60
12	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60

	践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。			
13	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60
14	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60
15	テーマ:実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。	学生による実習報告	他者の発表を振り返り、自分自身の実習での学びや体験と関連させて自身の課題の整理につなげること。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	実習施設の役割と機能に関する知識、子どもの特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術が必要となります。			
テキスト	「保育実習マニュアル」 西南女学院大学保健福祉学部福祉学科 子ども家庭福祉コース 新基本保育シリーズ 20「保育実習」 公益財団法人 児童育成協会 監修 中央法規			

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	実習施設の種別に応じて、事前学習段階で目を通しておくべき文献や資料を紹介します。主体的かつ積極的に各自の学びを深め、実習に臨む準備を整えましょう。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習施設の役割と機能に関する知識、子どもの特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術について、関連する科目の復習を丁寧に行いましょう。実習に関連する資料として事前学習で用いた資料は一冊のファイルに綴じておきましょう。実習中の考察や実習後の振り返りにも役立ちます。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	「レポート外の提出物」(実習前の課題、実習関連の書類)、「発表、プレゼンテーション」(実習報告会での発表)、「その他」(事前学習への取り組み、授業中の質問、発言など)により評価します